

【プレゼンテーション資料】

2012年度第3四半期(9カ月累計) 連結業績 および ソニー生命の2012年12月末MCEV

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社
2013年2月14日

■ 2012年度第3四半期(9カ月累計) 連結業績	P. 3
■ 2012年度 連結業績予想	P.26
■ ソニー生命の2012年12月末MCEV および経済価値ベースのリスク量	P.28
■ 参考情報	P.30

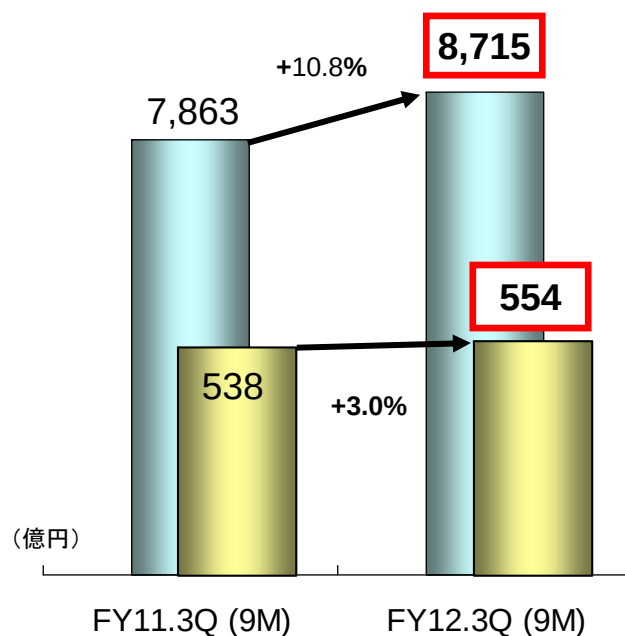
免責事項:

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況などに関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されません。口頭または書面による見通し情報は、現在入手可能な情報から得られた当社グループの経営者の判断にもとづいています。実際の業績は、様々なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しに依拠することは控えるようお願いします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社グループが将来の見通しを見直すとは限りません。当社グループはいずれもそのような見直しの義務を負いません。また、このプレゼンテーション資料は日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものではありません。

2012年度第3四半期（9カ月累計） 連結業績

連結業績ハイライト(1)

■ 経常収益 ■ 経常利益



(億円)		FY11.3Q (9M)	FY12.3Q (9M)	前年同期比	
生命保険事業	経常収益	7,039	7,843	+804	+11.4%
	経常利益	495	517	+21	+4.4%
損害保険事業	経常収益	601	638	+36	+6.1%
	経常利益	16	10	▲6	▲37.8%
銀行事業	経常収益	238	251	+13	+5.5%
	経常利益	25	25	▲0	▲1.0%
セグメント間取引等の消去 ^{*1}	経常収益	▲15	▲18	▲2	—
	経常利益	0	1	+0	+95.1%
グループ連結	経常収益	7,863	8,715	+851	+10.8%
	経常利益	538	554	+16	+3.0%
	四半期純利益	226	327	+100	+44.5%

(億円)		12.3末	12.12末	前年度末比	
グループ連結	総資産	72,414	77,967	+5,553	+7.7%
	純資産	3,478	3,859	+381	+11.0%

*1 経常利益については、主として持株会社(SFH)にかかる損益

*2 包括利益: FY11.3Q (9M) …409億円、FY12.3Q (9M) …468億円

※金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

■ 生命保険事業:

保有契約高の堅調な推移により保険料等収入が増加したこと、および昨年12月末にかけての市況回復にともない特別勘定の資産運用損益が改善したことなどにより、経常収益は増加。経常利益は、前年同期に計上した東日本大震災関連の支払備金の戻入益や債券入替にともなう有価証券売却益が当期では減益要因となったものの、変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額の減少や逆ざやの解消などにより、増加。

■ 損害保険事業:

主力の自動車保険を中心に正味収入保険料が増加したことにより、経常収益は増加。一方、経常利益は、自動車保険における保険金単価の上昇などにより損害率が上昇したことから、減少。

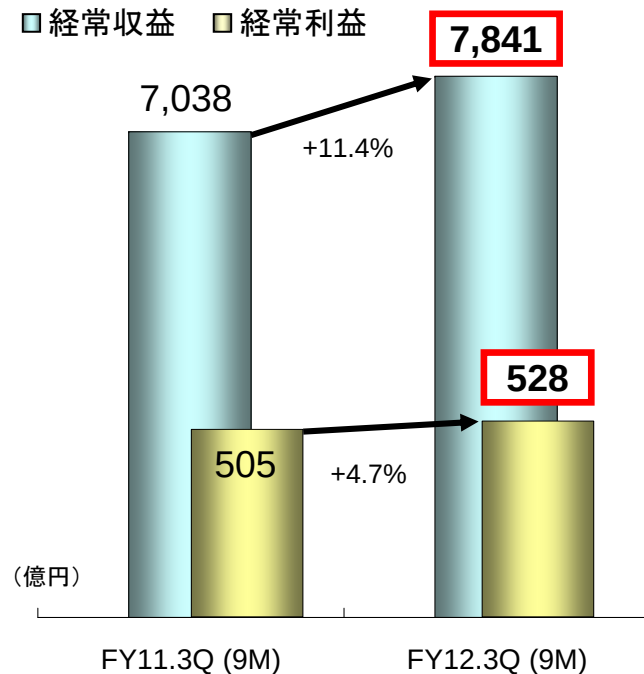
■ 銀行事業:

2011年7月1日にソニー銀行が、(株)スマートリンクネットワークを子会社化し、当期においては同社が期首より連結対象であったことにより役務取引等収益が増加し、経常収益は増加。一方、経常利益は、住宅ローン取引に係る利益が増加したものの、外貨関連取引に係る利益が減少したことから、ほぼ横ばい。

■ SFH連結:

連結経常収益は、生命保険事業、損害保険事業、および銀行事業のすべての事業において増加し、前年同期比10.8%増の8,715億円。連結経常利益は、生命保険事業において増加、損害保険事業および銀行事業において減少した結果、前年同期比3.0%増の554億円。四半期純利益は、法人税率引き下げに関連して前年同期に繰延税金資産の一部を取り崩した影響もあり、前年同期比44.5%増の327億円。

ソニー生命 業績ハイライト(単体)



- ◆ 前年同期比 増収増益。
- ◆ 保有契約高の堅調な推移により保険料等収入が増加。
- ◆ 資産運用収益は、昨年12月末にかけての市況回復にともなう特別勘定の資産運用損益の改善などにより増加。
- ◆ 経常利益は、前年同期に計上した東日本大震災関連の支払備金の戻入益や債券入替にともなう有価証券売却益が当期では減益要因となったものの、変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額の減少や逆ざやの解消などにより、増加。

※金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

(億円)	FY11.3Q (9M)	FY12.3Q (9M)	前年同期比	
経常収益	7,038	7,841	+803	+11.4%
保険料等収入	6,020	6,573	+552	+9.2%
資産運用収益	835	1,114	+278	+33.3%
うち利息及び配当金等収入	725	803	+78	+10.8%
うち金銭の信託運用益	39	39	▲0	▲0.6%
うち有価証券売却益	70	23	▲46	▲66.6%
うち特別勘定資産運用益	—	247	+247	—
経常費用	6,533	7,312	+779	+11.9%
保険金等支払金	2,164	2,155	▲9	▲0.4%
責任準備金等繰入額	3,149	4,095	+945	+30.0%
資産運用費用	298	94	▲203	▲68.3%
うち有価証券売却損	18	15	▲2	▲14.1%
うち特別勘定資産運用損	187	—	▲187	▲100.0%
事業費	776	800	+23	+3.1%
経常利益	505	528	+23	+4.7%
四半期純利益	222	311	+88	+40.0%

(億円)	12.3末	12.12末	前年度末比	
有価証券残高	45,450	49,576	+4,126	+9.1%
責任準備金残高	48,430	52,525	+4,095	+8.5%
純資産額	2,648	2,986	+337	+12.8%
その他有価証券評価差額金	340	457	+117	+34.5%
総資産額	52,228	56,608	+4,380	+8.4%
特別勘定資産	4,442	4,878	+435	+9.8%

ソニー生命 主要業績指標(単体)

(億円)	FY11.3Q (9M)	FY12.3Q (9M)	増減率
新契約高	32,271	32,159	▲0.3%
解約・失効高	15,619	14,515	▲7.1%
解約・失効率	4.50%	4.03%	▲0.47pt
保有契約高	358,079	372,036	+3.9%
新契約年換算保険料	531	511	▲3.7%
うち第三分野	130	131	+0.9%
保有契約年換算保険料	6,276	6,578	+4.8%
うち第三分野	1,473	1,557	+5.7%

(注) 新契約高、解約・失効高、解約・失効率、保有契約高、新契約年換算保険料、保有契約年換算保険料は、個人保険と個人年金保険の合計。解約・失効率は、契約高の減額または増額および復活を含めない解約・失効高を年度始の保有契約高で除した率。

(億円)	FY11.3Q (9M)	FY12.3Q (9M)	増減率
資産運用損益(一般勘定)	725	771	+6.5%
基礎利益	509	570	+12.0%
逆ざや額 (▲)	▲17	11	—

(注) 逆ざや額のプラスは順ざや額を表します。

	12.3末	12.12末	前年度末比
単体 ソルベンシー・マージン比率	1,980.4%	2,240.5%	+260.1pt

(注) 単体ソルベンシー・マージン比率は、いずれも2012年3月末(2011年度末)から適用された現行基準により算出したもの。

<主な増減要因>

◆ 家族収入保険の販売が減少したものの、生前給付保険などの販売が増加したことにより、ほぼ横ばい。

◆ 解約・失効率は、定期保険を中心に総じて低下。

◆ 生前給付保険などの販売が順調だったものの、がん入院保険の販売が減少したことにより、減少。

◆ 有価証券売却益が減少したものの利息及び配当金等収入が増加したことにより、増加。

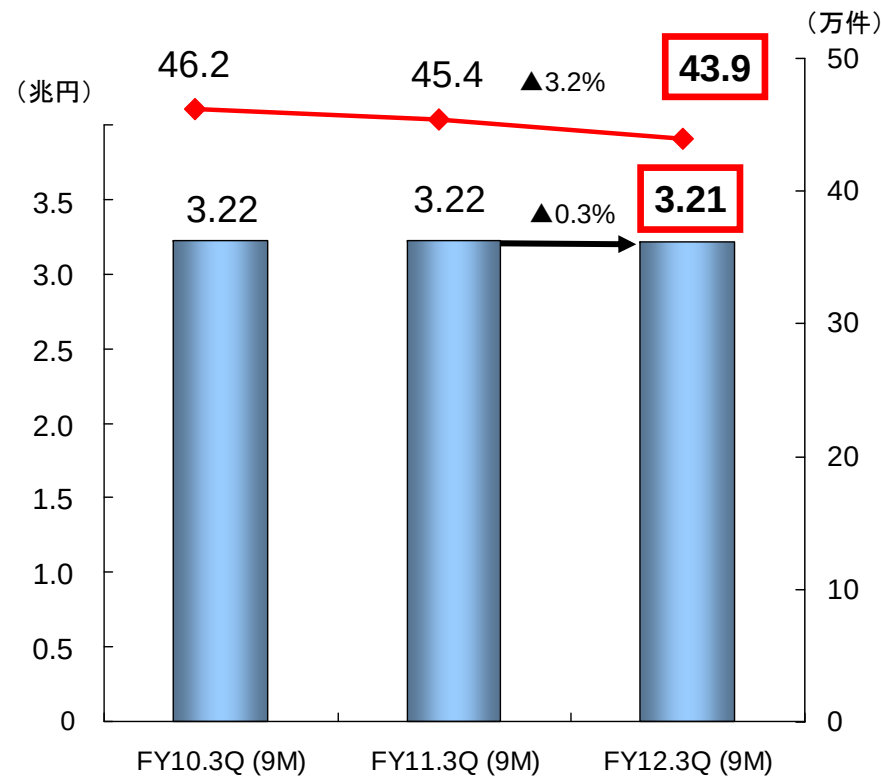
◆ 基礎利益は、前年同期に計上した東日本大震災関連の支払備金の戻入益が当期においては減益要因となったものの、変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額の減少や逆ざやの解消などにより、増加。

※金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

ソニー生命の業績(1)

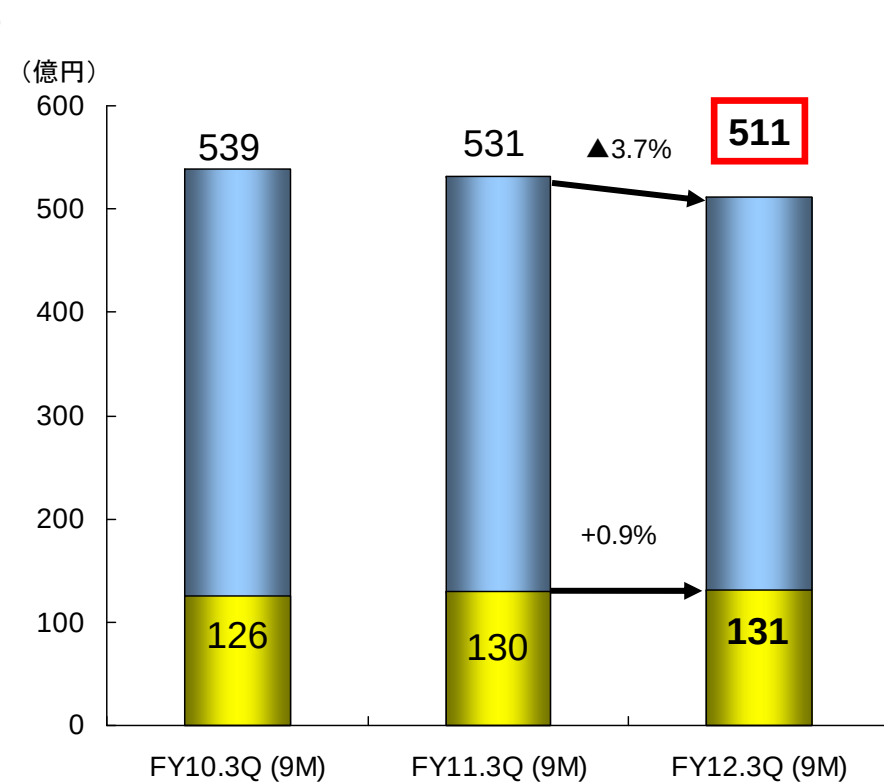
新契約高・件数 (個人保険+個人年金保険)

■ 新契約高 — 新契約件数



新契約年換算保険料 (個人保険+個人年金保険)

■ 新契約年換算保険料 ■ うち、第三分野

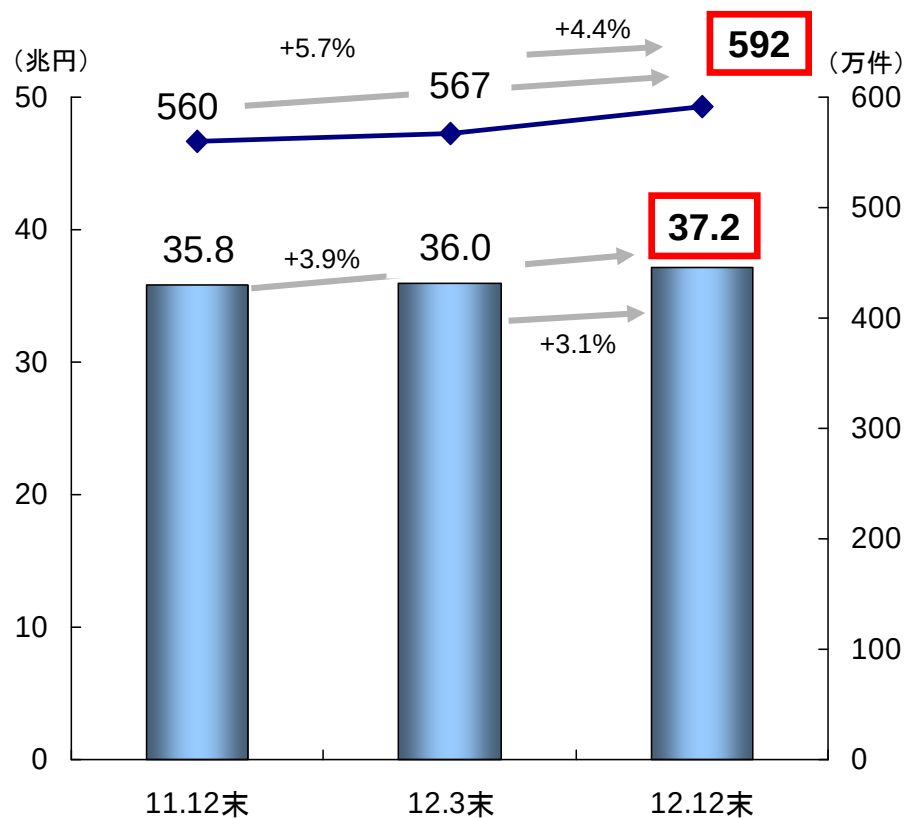


※新契約高は百億円未満切捨て、新契約年換算保険料は億円未満切捨て、件数は千件未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

ソニー生命の業績(2)

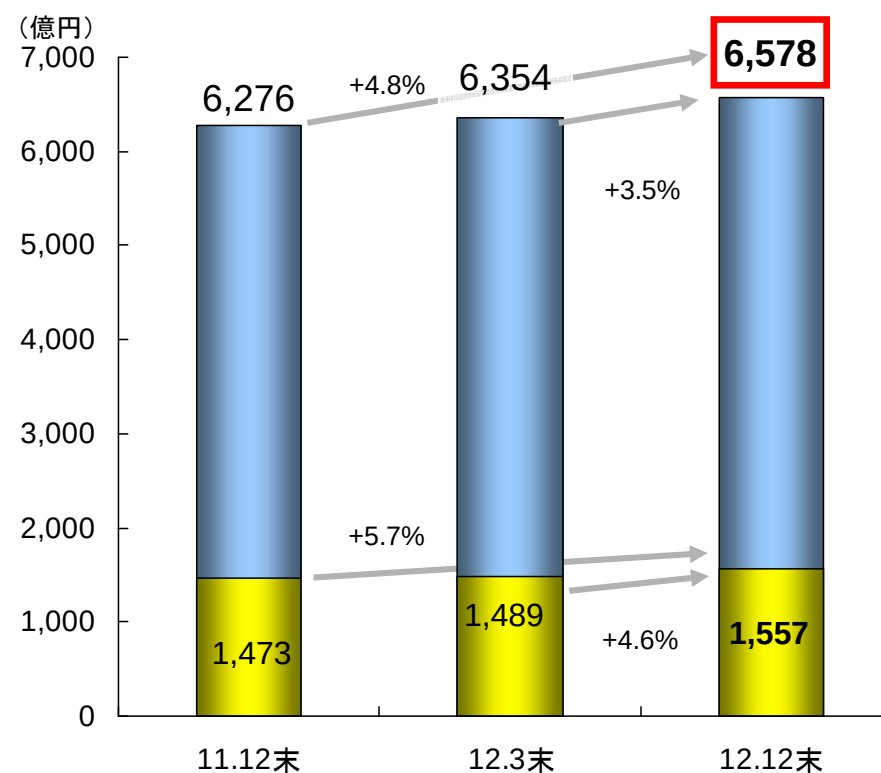
保有契約高・件数 (個人保険+個人年金保険)

■ 保有契約高 — 保有契約件数



保有契約年換算保険料 (個人保険+個人年金保険)

■ 保有契約年換算保険料 ■ うち、第三分野

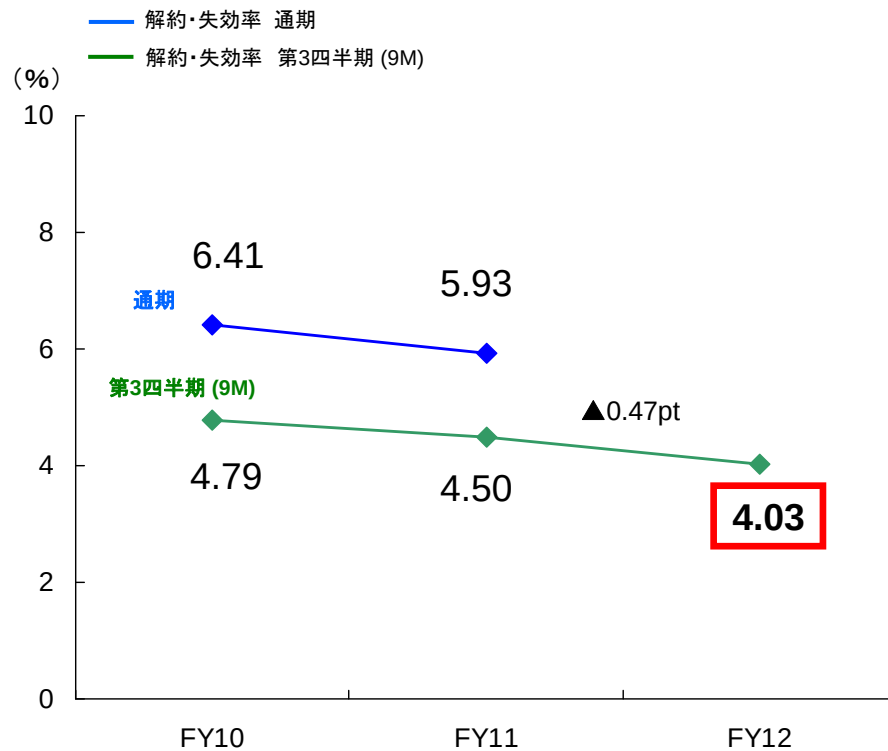


※保有契約高は千億円未満切捨て、保有契約年換算保険料は億円未満切捨て、件数は万件未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

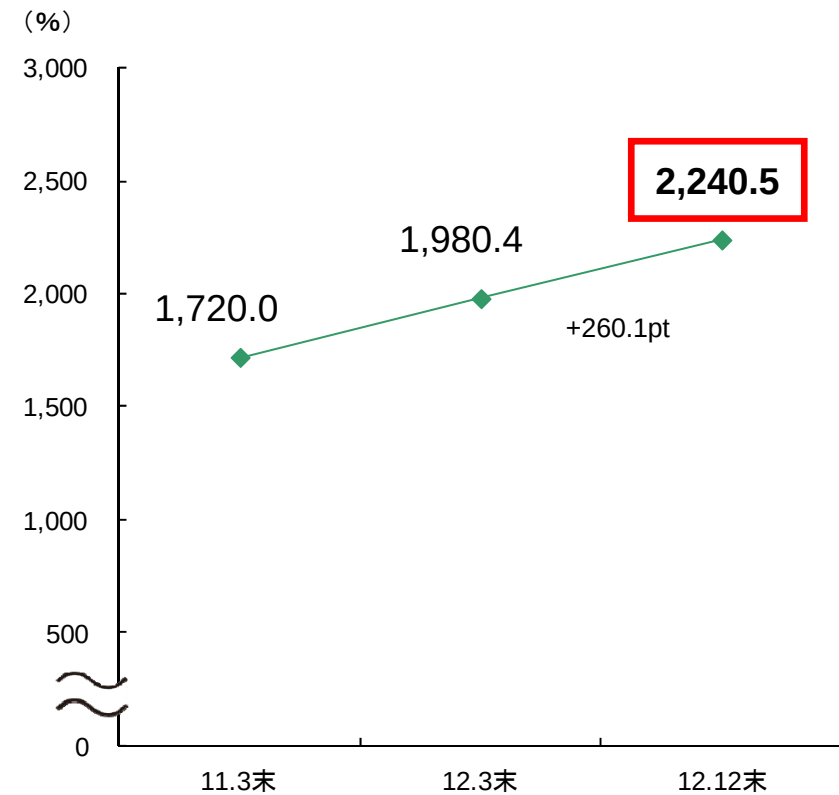
ソニー生命の業績(3)

解約・失効率* (個人保険+個人年金保険) ＜通期・第3四半期(9カ月累計)＞

* 解約・失効率は、契約高の減額または増額および復活を含めない
解約・失効高を年度始の保有契約高で除した率



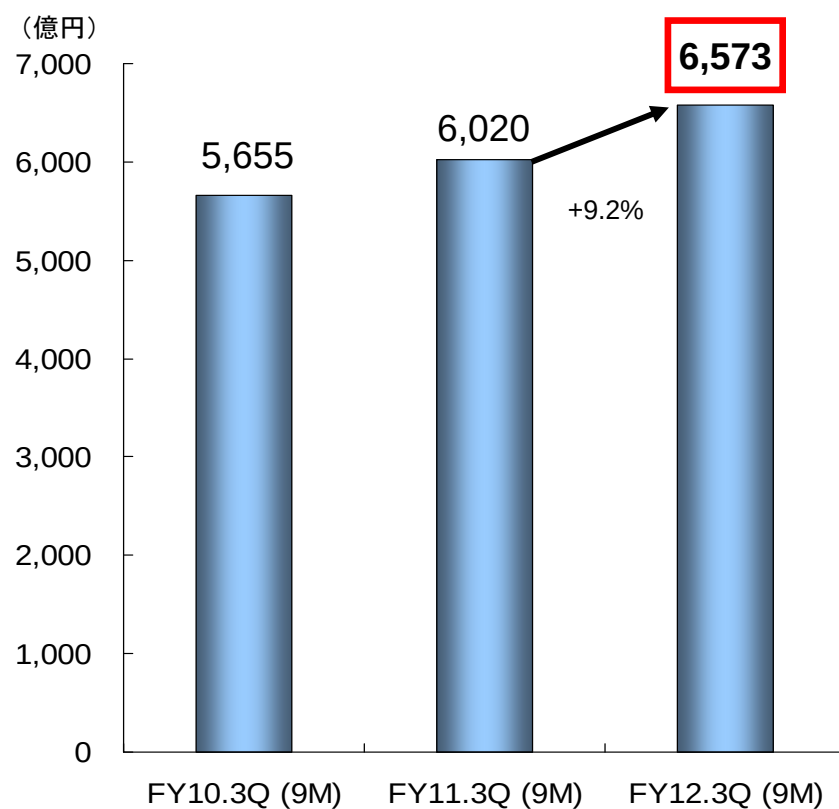
単体ソルベンシー・マージン比率



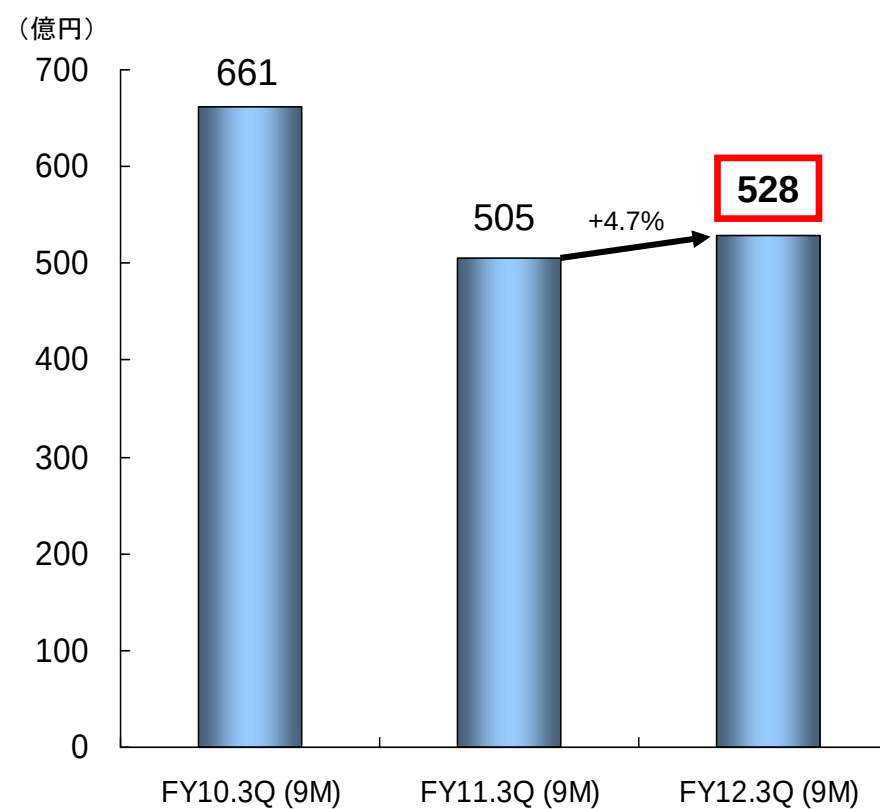
(注) 単体ソルベンシー・マージン比率は、いずれも2012年3月末(2011年度末)から適用された現行基準により算出したもの。

ソニー生命の業績(4)

保険料等収入



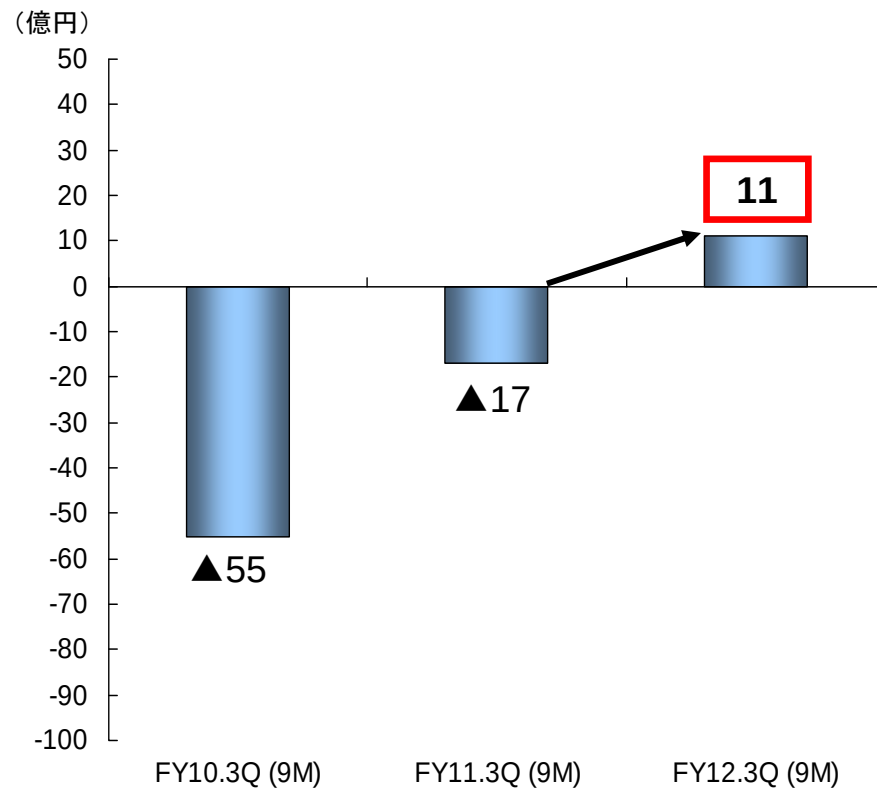
経常利益



※金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

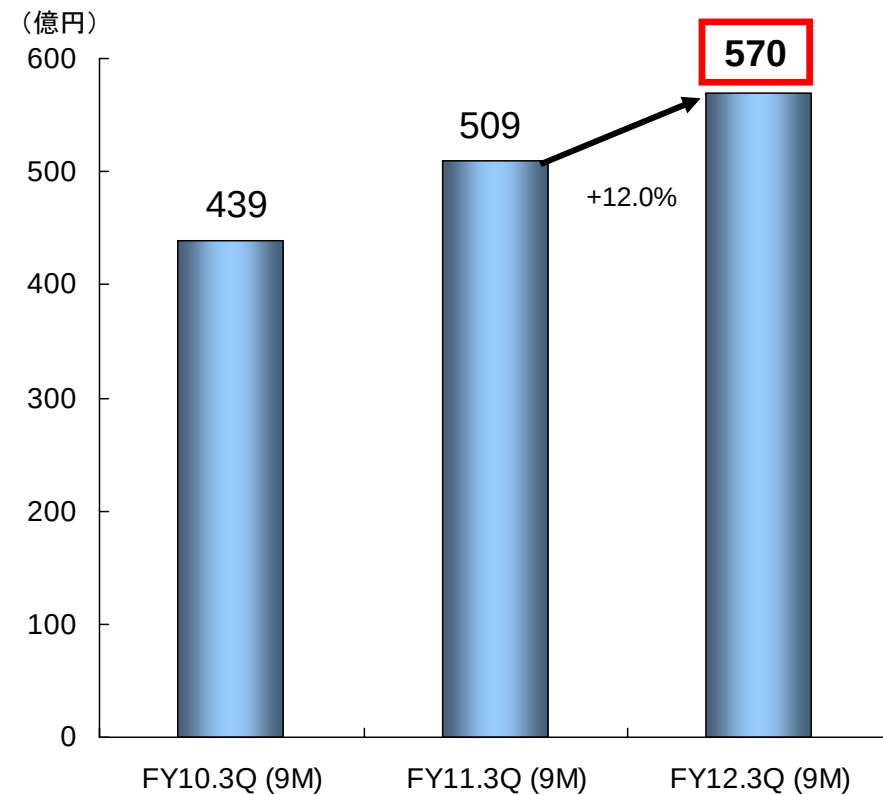
ソニー生命の業績(5)

逆ざや額



(注) 逆ざや額のプラスは順ざや額を表します。

基礎利益



(参考) 変額保険の最低保証に係る一般勘定の責任準備金繰入額

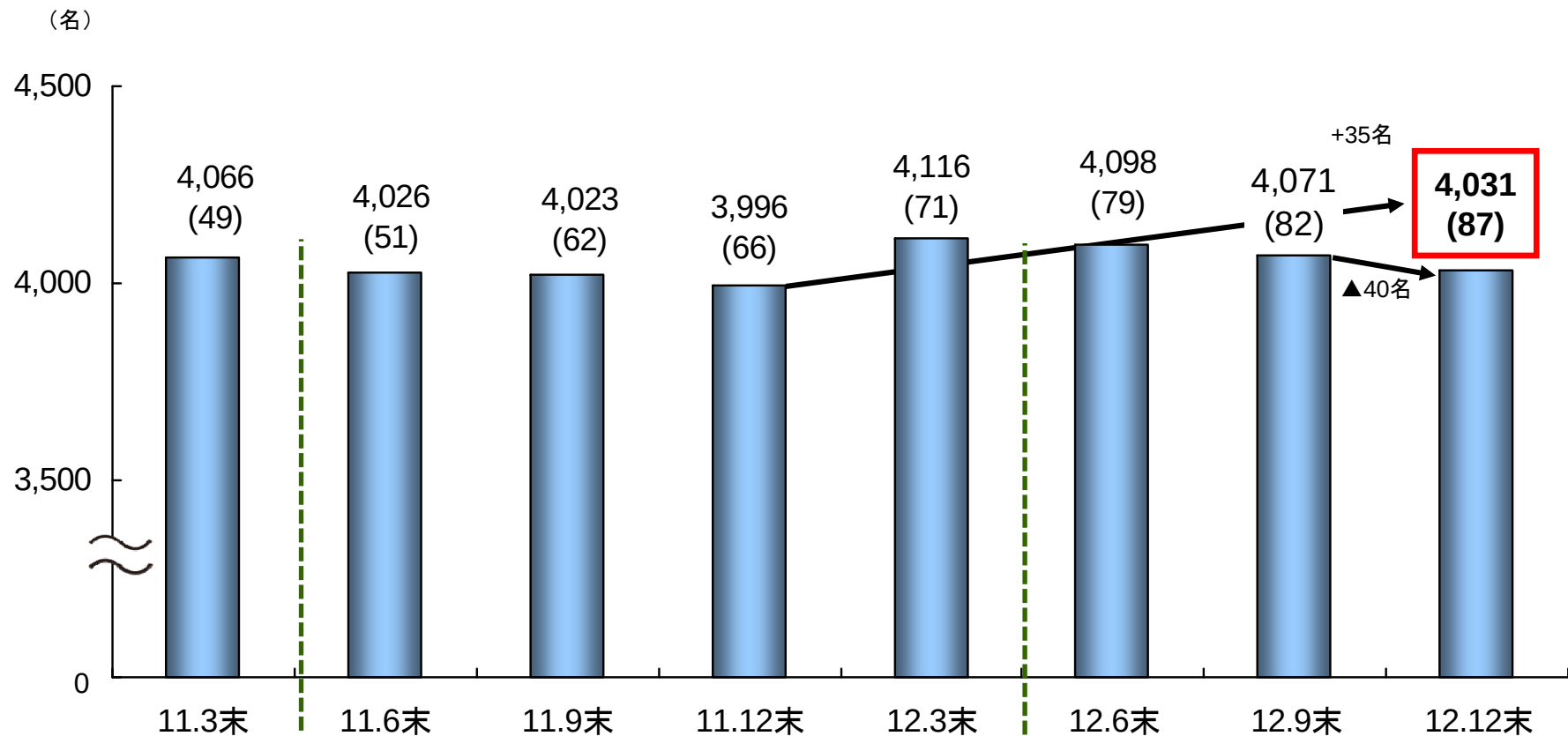
(単位: 億円)

FY10.3Q (9M)	FY11.3Q (9M)	FY12.3Q (9M)	前年同期差
45	56	12	▲44

※金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

ソニー生命の業績(6)

ライフプランナー在籍数



(注) ()は、嘱託ライフプランナー数で、内数です。

嘱託ライフプランナーとは、定年退職を迎えた後も、販売状況などの一定の要件を満たすことで、ライフプランナーとしての活動を続けている営業社員です。

※「ライフプランナー」はソニー生命の登録商標です。

一般勘定資産の内訳

(億円)

	12.3末		12.12末	
	金額	割合	金額	割合
公社債	39,757	83.2%	43,705	84.5%
株式	450	0.9%	285	0.6%
外国公社債	596	1.2%	605	1.2%
外国株式等	305	0.6%	244	0.5%
金銭の信託	2,882	6.0%	2,932	5.7%
約款貸付	1,387	2.9%	1,420	2.7%
不動産	729	1.5%	715	1.4%
現預金・コールローン	648	1.4%	581	1.1%
その他	1,026	2.1%	1,237	2.4%
合計	47,785	100.0%	51,729	100.0%

<資産運用状況>

公社債：2012年度・・・超長期債購入継続



〔債券のDuration〕

11. 3末 18.5 年

12. 3末 19.2 年

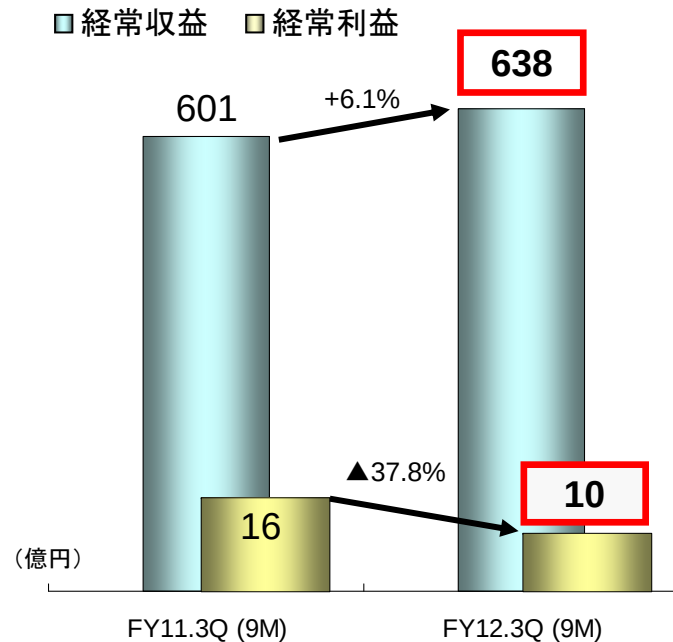
12.12末 19.1 年

■「金銭の信託」は主に公社債を中心に運用。

■一般勘定資産における公社債(金銭の信託で運用されているものを含む)の実質的な構成比

12.12末・・・90.2% (12.3末・・・89.2%)

ソニー損保 業績ハイライト



(億円)	FY11.3Q (9M)	FY12.3Q (9M)	前年同期比	
経常収益	601	638	+36	+6.1%
保険引受収益	594	630	+35	+6.0%
資産運用収益	6	7	+0	+14.2%
経常費用	584	627	+43	+7.4%
保険引受費用	441	476	+34	+7.8%
資産運用費用	0	0	+0	157.0%
営業費及び一般管理費	142	150	+8	+6.3%
経常利益	16	10	▲6	▲37.8%
四半期純利益	5	5	+0	+13.3%

- ◆ 前年同期比 増収減益。
- ◆ 自動車保険を中心とした保有契約件数の伸びにより正味収入保険料が増加したことから、経常収益は増加。
- ◆ 自動車保険における保険金単価の上昇などにより損害率が上昇したことから、経常利益は減少。

(億円)	12.3末	12.12末	前年度末比	
責任準備金残高	673	710	+37	+5.5%
純資産額	180	187	+7	+4.2%
総資産額	1,186	1,233	+47	+4.0%

※金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

ソニー損保 主要業績指標

(億円)	FY11.3Q (9M)	FY12.3Q (9M)	前年同期比
元受正味保険料	588	621	+5.7%
正味収入保険料	594	629	+6.0%
正味支払保険金	329	350	+6.3%
保険引受利益	11	3	▲69.7%
正味損害率	61.8%	62.4%	+0.6pt
正味事業費率	25.5%	25.5%	0.0pt
コンバインド・レシオ	87.4%	87.9%	+0.5pt

＜主な増減要因＞

◆ 自動車保険を中心とした保有契約件数の増加により、増加。

◆ 自動車保険の保有契約件数の増加に伴う支払件数の増加などにより、増加。

◆ 保険金単価の上昇や損害調査費の増加により、上昇。

(注) 正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料
正味事業費率 = 保険引受に係る事業費 ÷ 正味収入保険料

	12.3末	12.12末	前年度末比
保有契約件数	149万件	154万件	+5万件 +3.9%
単体 ソルベンシー・マージン比率	557.8%	525.0%	▲32.8pt

◆ 自動車保険を中心に保有契約件数が増加。

(注) 保有契約件数は、自動車保険とガン重点医療保険の合算値。両方で正味収入保険料の99%を占める。

(注) 単体ソルベンシー・マージン比率は、いずれも2012年3月末(2011年度末)から適用された現行基準により算出したもの。

※金額は億円未満切捨て、件数は万件未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

ソニー損保 種目別保険引受の状況

元受正味保険料

(百万円)	FY11.3Q (9M)	FY12.3Q (9M)	増減率
火 災	118	171	+45.3%
海 上	—	—	—
傷 害*	5,517	5,883	+6.6%
自 動 車	53,177	56,129	+5.6%
自 賠 責	—	—	—
合 計	58,812	62,185	+5.7%

正味収入保険料

(百万円)	FY11.3Q (9M)	FY12.3Q (9M)	増減率
火 災	68	80	+16.4%
海 上	50	105	108.5%
傷 害*	5,681	6,073	+6.9%
自 動 車	52,978	55,922	+5.6%
自 賠 責	647	805	+24.4%
合 計	59,426	62,987	+6.0%

* 「傷害」にはガン重点医療保険SURE〈シュア〉が含まれる。

正味支払保険金

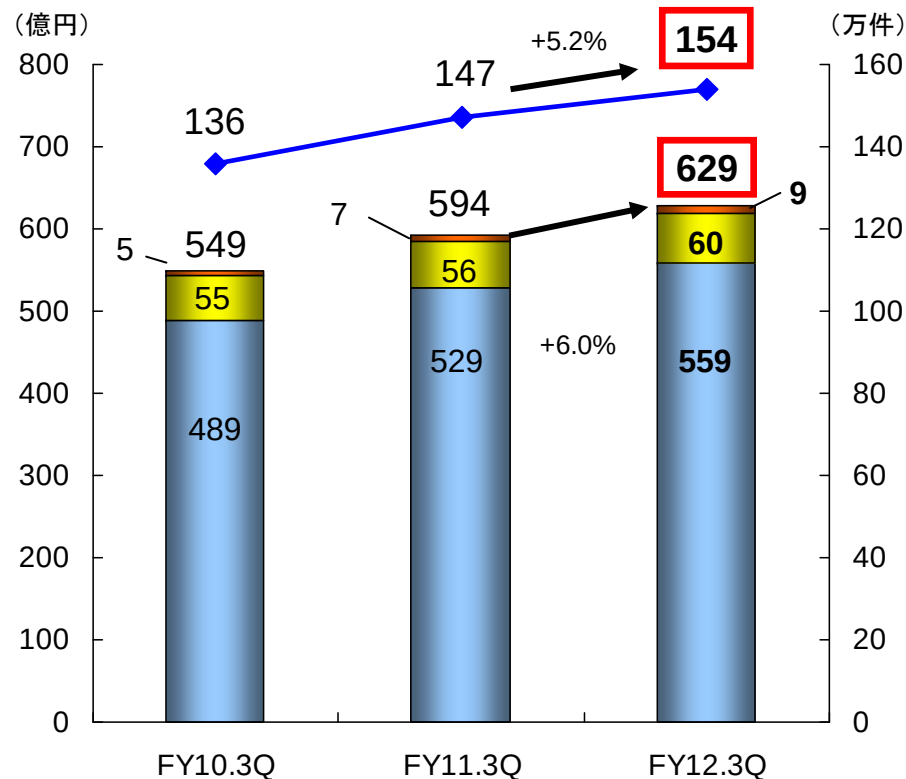
(百万円)	FY11.3Q (9M)	FY12.3Q (9M)	増減率
火 災	40	0	▲98.0%
海 上	104	160	+53.8%
傷 害*	1,352	1,467	+8.5%
自 動 車	30,806	32,662	+6.0%
自 賠 責	647	750	+15.9%
合 計	32,951	35,041	+6.3%

※金額は百万円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

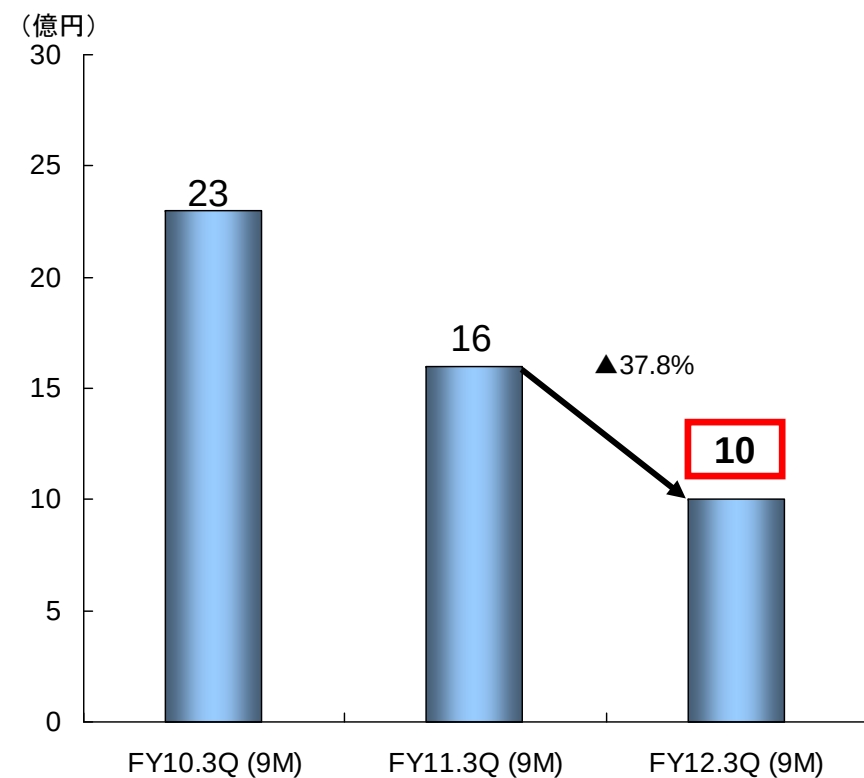
ソニー損保の業績(1)

正味収入保険料 <9M> および 保有契約件数 <12月末時点>

■ 自動車保険 ■ 傷害保険 ■ その他
— 保有契約件数



経常利益



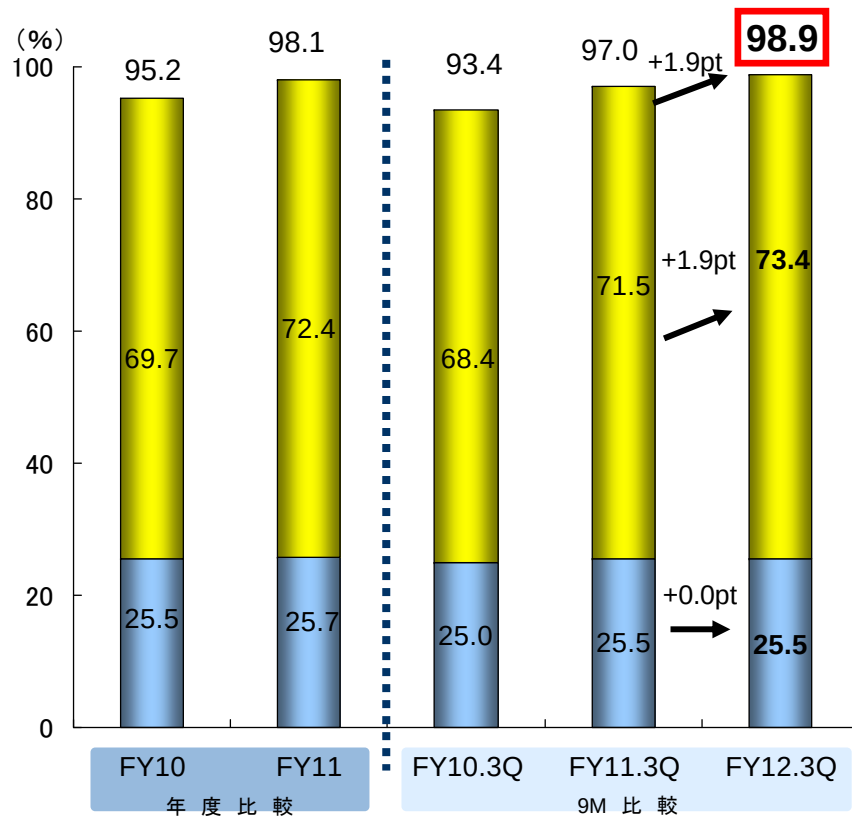
(注) 保有契約件数は、自動車保険とガン重点医療保険の合算値。
両方で正味収入保険料の99%を占める。
傷害保険の9割以上が、ガン重点医療保険である。

※金額は億円未満切捨て、件数は万件未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

ソニー損保の業績(2)

E.I.損害率＋正味事業費率

■ E.I.損害率 ■ 正味事業費率

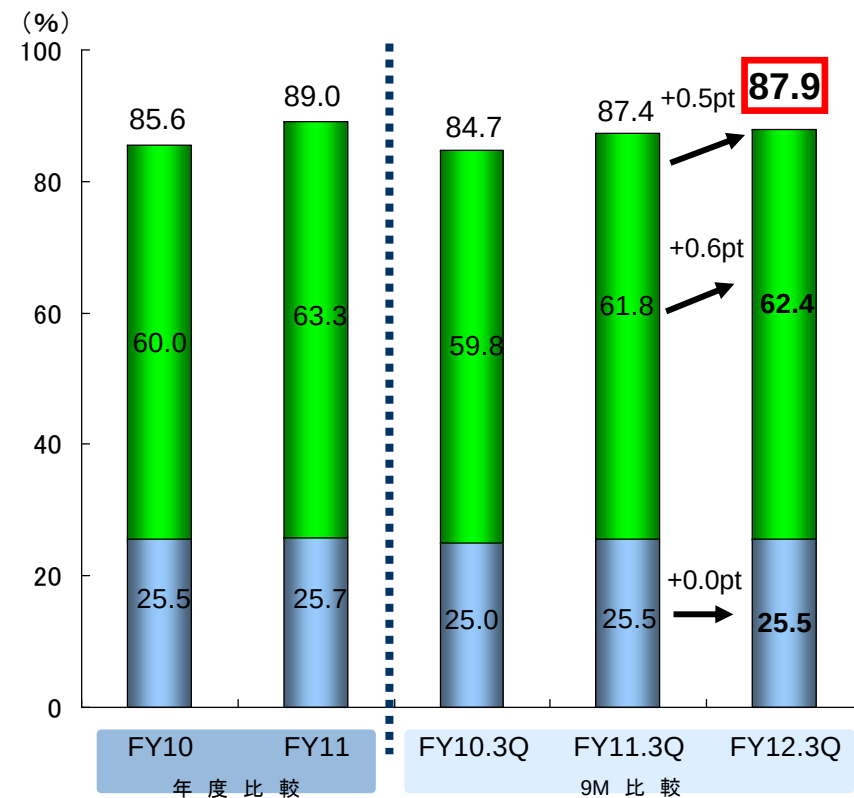


(注) E.I.損害率 = (正味支払保険金＋支払備金繰入額＋損害調査費)÷既経過保険料
[除く地震保険、自賠責保険]

正味事業費率 = 保険引受に係る事業費÷正味収入保険料

<参考> コンバインド・レシオ (正味事業費率＋正味損害率)

■ 正味損害率 ■ 正味事業費率

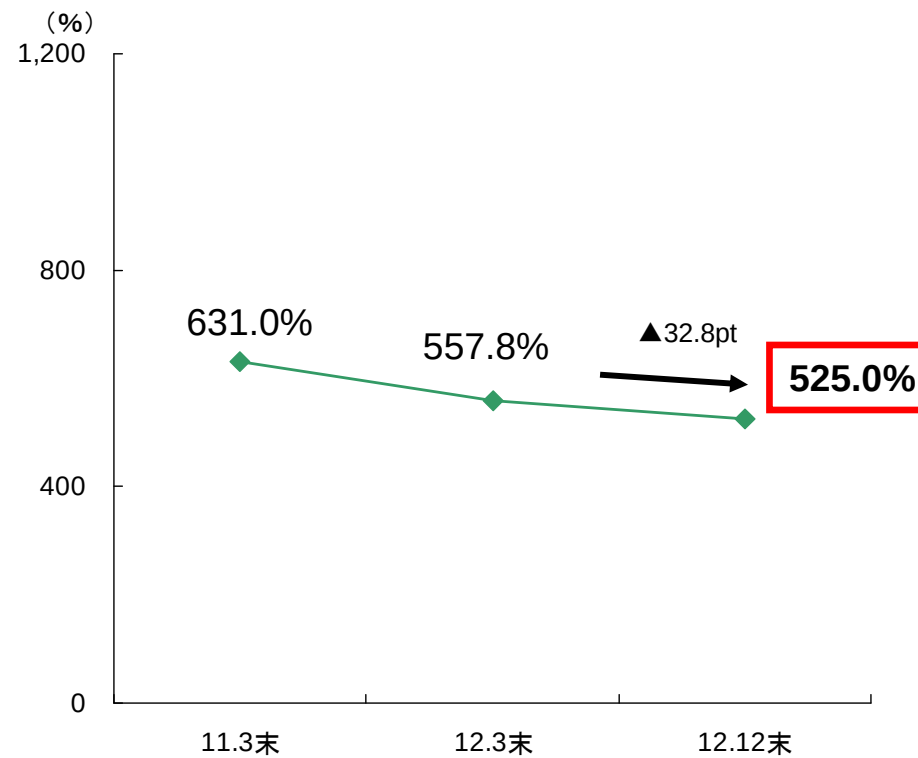


(注) 正味損害率 = (正味支払保険金＋損害調査費)÷正味収入保険料

正味事業費率 = 保険引受に係る事業費÷正味収入保険料

ソニー損保の業績(3)

単体ソルベンシー・マージン比率

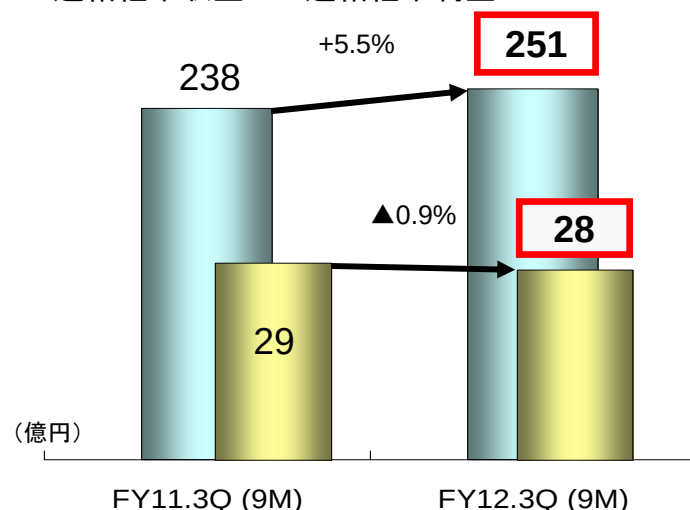


(注) 単体ソルベンシー・マージン比率は、いずれも2012年3月末(2011年度末)から適用された現行基準により算出したもの。

ソニー銀行 業績ハイライト(連結・単体)



■ 連結経常収益 ■ 連結経常利益



<連結>

- ◆ 連結経常収益は、(株)スマートリンクネットワークの子会社化により役務取引等収益が増加し、増収。連結経常利益は横ばい。連結四半期純利益は、昨年8月1日のソニーバンク証券の譲渡にともなう税効果により、増益。

<銀行単体>

- ◆ 業務粗利益は、前年同期比減少。
 - ・資金運用収支は、住宅ローン残高の増加にともない貸出金利息が増加した一方で、資金調達費用は減少し、増加。
 - ・役務取引等収支は、外国為替証拠金取引の手数料無料化の影響もあり、微減。
 - ・その他業務収支は、債券関連取引に係る利益が減少したことにより、減少。
- ◆ 業務純益は、業容拡大にともなう人員増強などにより営業経費が増加したこともあり、減少。
- ◆ 四半期純利益(損失)は、ソニーバンク証券の譲渡に係る特別損失(28億円)を計上したことにより、損失を計上。

<連結>

(億円)	FY11.3Q (9M)	FY12.3Q (9M)	前年同期比	
連結経常収益	238	251	+13	+5.5%
連結経常利益	29	28	▲0	▲0.9%
連結四半期純利益	11	22	+11	+95.0%

<銀行単体>

(億円)	FY11.3Q (9M)	FY12.3Q (9M)	前年同期比	
経常収益	221	228	+6	+2.8%
業務粗利益	136	133	▲3	▲2.2%
資金運用収支	120	131	+10	+8.9%
役務取引等収支	0.7	▲0.0	▲0.7	—
その他業務収支	14	1	▲12	▲86.8%
営業経費	102	105	+3	+3.0%
業務純益	31	28	▲3	▲11.3%
経常利益	29	26	▲2	▲8.9%
四半期純利益(損失)	16	▲1	▲17	—

	12.3末	12.12末	前年度末比	
純資産額 (億円)	627	644	+16	+2.6%
その他有価証券 評価差額金	17	40	+23	+130.3%
総資産額	18,905	20,029	+1,124	+5.9%

※金額は億円未満切捨て(役務取引等収支を除く)、増減率は四捨五入で表示

ソニー銀行 主要業績指標(単体)①

(億円)	11.12末	12.3末	12.12末	前年度末比	
預かり資産残高	17,834	18,643	19,730	+1,087	+5.8%
預金	16,883	17,622	18,684	+1,061	+6.0%
円預金	13,340	13,905	14,889	+983	+7.1%
外貨預金	3,543	3,717	3,794	+77	+2.1%
投資信託	950	1,020	1,046	+25	+2.5%
貸出金残高	8,059	8,355	9,297	+942	+11.3%
住宅ローン	7,227	7,496	8,306	+810	+10.8%
その他	832	859	991 ^{*1}	+131	+15.3%
自己資本比率 (国内基準) ^{*2}	11.86%	11.58%	10.71%	▲0.87pt	
Tier1 比率	9.85%	9.63%	8.91%	▲0.72pt	

<主な増減要因>

◆ 円預金残高は、夏季ボーナスシーズンの特別企画が好調だったことや、昨年12月末にかけての円安進行により外貨預金から円預金へのシフトが進み、増加。

◆ 外貨預金残高は、昨年12月末にかけての円安進行により外貨が売られたものの、円換算の影響(+193億円)が上回り、増加。

◆ 貸出金残高は、住宅ローン残高の伸びに加え、シンジケート・ローンを中心とした法人融資残高の増加により、増加。

*1 うち925億円は法人向け

*2 25ページの自己資本比率(国内基準)の推移ご参照

※金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

ソニー銀行 主要業績指標(単体)②

<参考> 社内管理ベース

(億円)	FY11.3Q (9M)	FY12.3Q (9M)	前年同期比	
業務粗利益	135	132	▲3	▲2.2%
資金収支 ^{*1} ①	126	130	+4	+3.3%
手数料等収支 ^{*2} ②	7	4	▲3	▲42.0%
その他収支 ^{*3}	1	▲2	▲3	—
コアベース業務粗利益 (A) =①+②	134	135	+0	+0.6%
営業経費等 ③	104	104	+0	+0.6%
コアベース業務純益 =(A)－③	30	30	+0	+0.9%

■ 社内管理ベース

損益の実態をより適切に表すよう、財務会計ベースに以下の調整を加えたもの

*1 資金収支 …… 資金運用収支＋その他業務収支に計上されている
実質的な資金運用にかかる損益(為替スワップ収益等)

*2 手数料等収支 … 役務取引等収支＋その他業務収支に計上されている
お客さまとの外貨売買取引にかかる収益

*3 その他収支 …… その他業務収支から *1 と *2 の調整分を控除したもの
(主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益)

■ コアベース

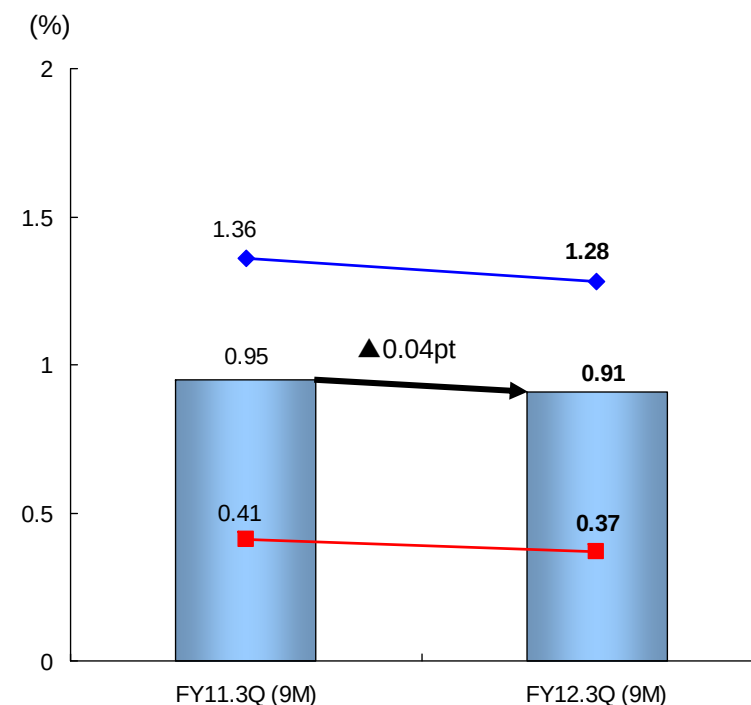
社内管理ベースの その他収支(主な内容は債券関係損益およびデリバティブ
関連損益)を除いたもので、ソニー銀行の基礎的な収益を表すもの

※金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

※当期より、社内管理ベースの算出方法を一部変更しました。そのため、FY11.3Qにつきましても、当期と同様の算出を行った場合の金額を記載しています。

<参考> 資金利ざや(社内管理ベース)の推移

◆ 資金運用利回り ■ 資金調達利回り ■ 資金利ざや

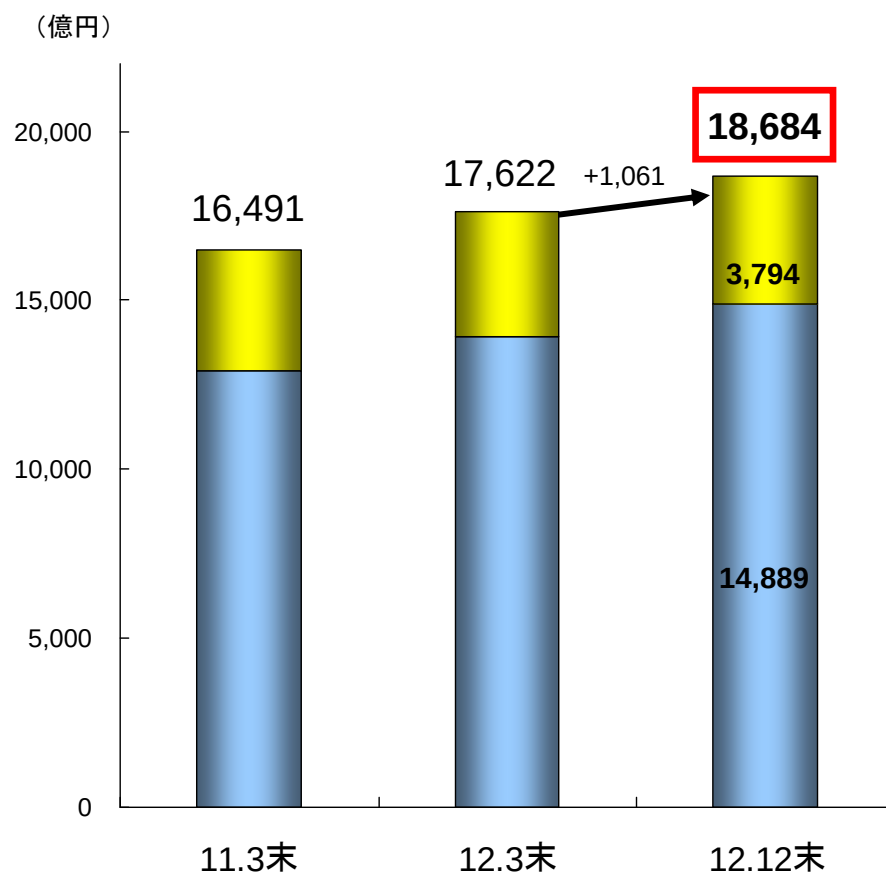


(注) 資金利ざや = 資金運用利回り－資金調達利回り

ソニー銀行の業績(単体)(1)

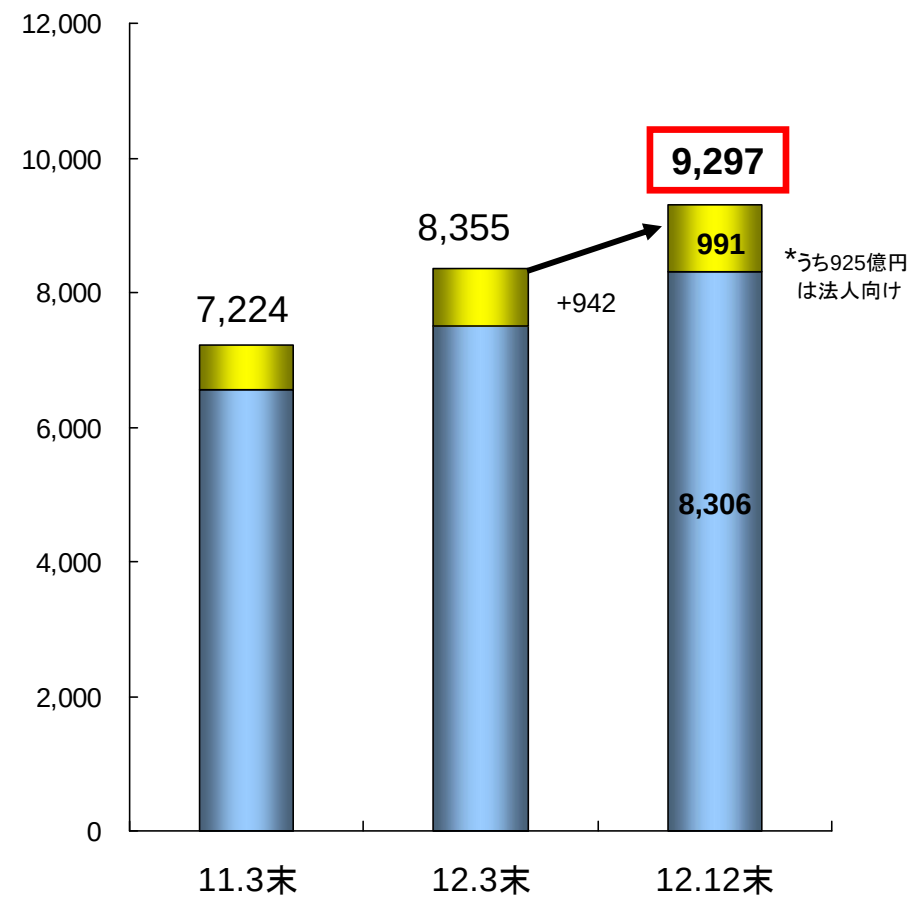
預金残高

■ 円預金 ■ 外貨預金



貸出金残高

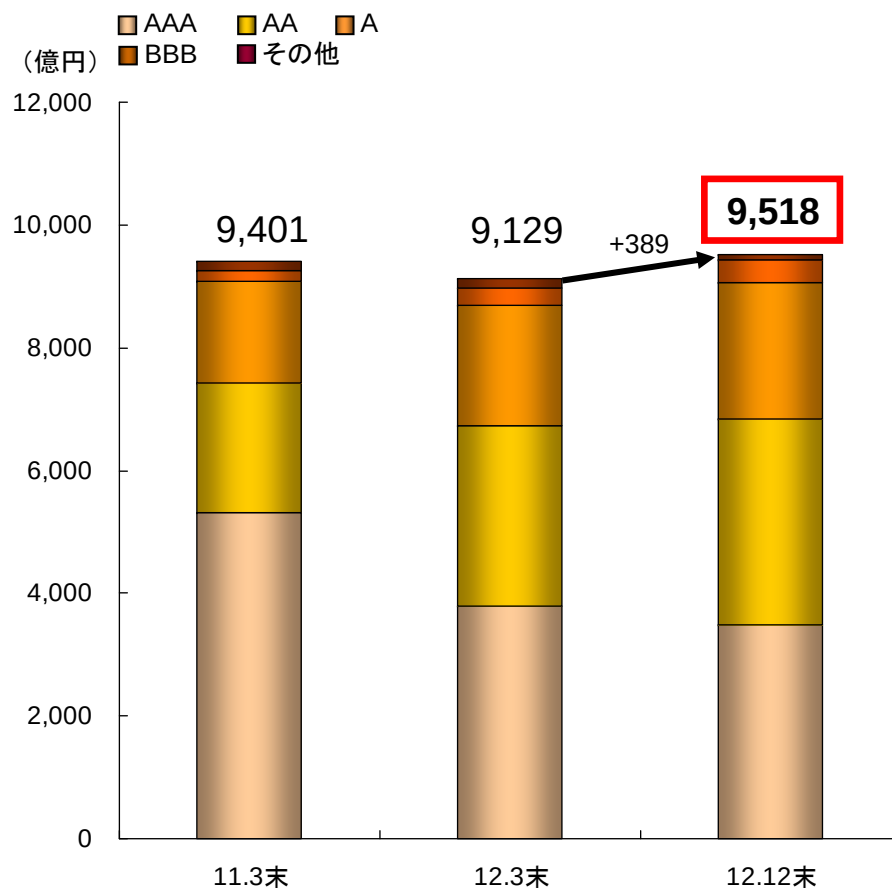
(億円) ■ 住宅ローン ■ その他



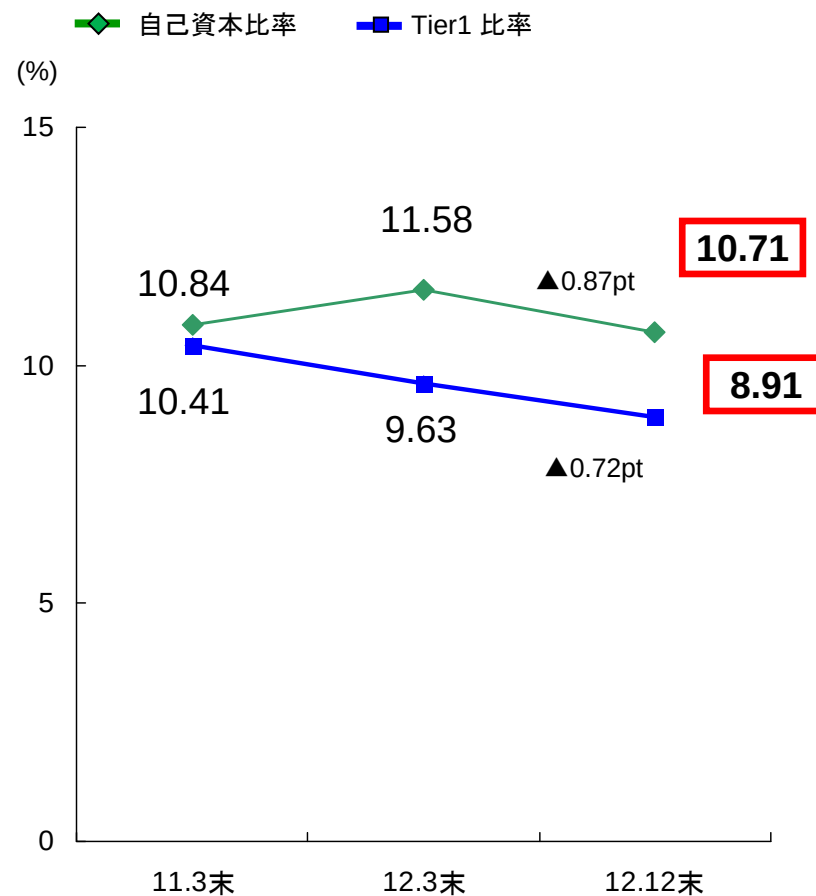
※金額は億円未満切捨てで表示

ソニー銀行の業績(単体)(2)

格付別の有価証券残高の推移



自己資本比率(国内基準)の推移



(注)平成18年(2006年)金融庁告示第19号「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」に基づき算出している。

2012年度 連結業績予想

2012年度 連結業績予想

通期連結経常収益、連結経常利益、連結純利益を上方修正

(億円)	FY11 (通期実績)	FY12 (今回予想)	FY12 (前回予想)	増減額 FY12 (今回予想) vs FY12 (前回予想)
連結経常収益	10,780	11,570	11,150	+420
うち生命保険事業	9,675	10,381	9,945	+436
うち損害保険事業	800	850	850	—
うち銀行事業	325	345	345	—
連結経常利益	746	740	670	+70
うち生命保険事業	681	685	615	+70
うち損害保険事業	28	26	26	—
うち銀行事業	34	36	36	—
連結純利益	328	410	370	+40

※金額は億円未満切捨てで表示

■生命保険事業

経常収益、経常利益ともに、9カ月累計の実績が想定を上回って推移したこと並びに年初からの市況動向などを勘案し、前回の通期予想を上方修正。

■損害保険事業

経常収益、経常利益ともに前回の通期予想を据え置き。

■銀行事業

経常収益、経常利益ともに前回の通期予想を据え置き。

(注) 2012年5月10日に発表した通期予想を2013年2月7日に修正。

ソニー生命の2012年12月末MCEV および経済価値ベースのリスク量

ソニー生命の2012年12月末MCEV および経済価値ベースのリスク量

(億円)	12.3末 (国債レート)	12.12末 (国債レート)	増減
MCEV	10,415	10,794	+378
修正純資産	4,092	4,503	+411
保有契約価値	6,324	6,291	▲33

(1) 2012年12月末の保有契約をベースとして、解約・失効率と経済前提をアップデート。

(2) 2012年12月末の計算は、一部簡易な計算を実施。

(主な増減理由)

◆ 新契約価値の順調な積み上がりがMCEVの増加に貢献。

(億円)	12.3末	12.12末	増減
経済価値ベースのリスク量	5,515	6,026	+511

(注) 経済価値ベースのリスク量の測定においては、1年VaR99.5%水準とし、EUソルベンシー II (QIS5) の標準モデルを参考にした内部モデルを採用。

※ 本計算の妥当性については第三者の検証を受けていないことに十分ご注意ください。

参考情報

その他トピックス①

ソニーライフ・エイゴン生命の営業状況

営業開始： 2009年12月1日

資本金： 200億円(資本準備金100億円を含む)

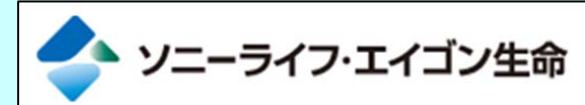
株主： ソニー生命 50%、エイゴン・インターナショナルB.V. 50%

取扱商品： 変額個人年金保険(2種類4商品*)

販売チャネル： ライフプランナー、および銀行等(計9社*) * 2013年2月14日現在

主要業績指標(2012年度第3四半期(9ヶ月累計)):

新契約件数: 3,974件、新契約高: 273億円 (2012年12月末・・・保有契約件数: 7,560件、保有契約高: 577億円)

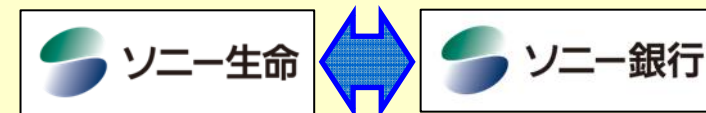


ソニー銀行における、ソニー生命による住宅ローンの取扱い状況

■ 2012年12月末の住宅ローン残高の25%

2012年度第3四半期(9ヶ月累計)の住宅ローン新規融資実行金額の24%

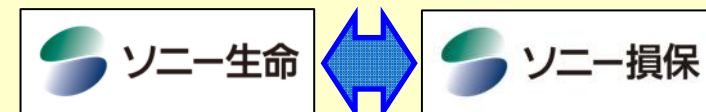
※銀行代理業務取扱い開始: 2008年1月



ソニー損保における、ソニー生命による自動車保険取扱い状況

■ 2012年度第3四半期(9ヶ月累計)の新規自動車保険契約件数の約5%

※自動車保険取扱い開始: 2001年5月



※「ライフプランナー」はソニー生命の登録商標です。

＜2012年度第3四半期以降の主な取り組み＞

2012年10月1日	損保	ソニー損保、自動車保険のご契約者に対し、事故受付後1時間以内に専任担当者からご連絡することを約束
2012年10月11日	損保	ソニー損保、スマートフォン向け無料アプリ「トラブルナビ」に、「今ここGPS」と国内損保初の機能「今どこレーダー」を追加
2012年10月19日	生保	ソニー生命、「共創プロジェクト」第2フェーズ リリース
2012年10月22日	銀行	ソニー銀行、「中国人民元(CNH)、南アフリカランド、スウェーデンクローナ」外貨預金の取り扱い開始
2012年11月1日	損保	ソニー損保、自動車保険について証券ペーパーレス割引や特約の新設などの商品改定を実施。 (2012年11月1日以降が保険始期日となる契約が対象)
2012年11月14日	当社	2012年度(第9期) 配当予想(増配)を発表
2012年12月1日	銀行	ソニー銀行、外貨預金(全12通貨)の為替手数料を引き下げ、優遇制度を改定
2012年12月6日	生保	ソニー生命、Sony Life Insurance (Philippines) Corporationの事業譲渡
2013年1月14日	銀行	ソニー銀行、マネックス証券との新たな金融商品仲介サービス開始
2013年1月28日	銀行	ソニー銀行、Windows 8アプリ「カンタン外貨チャート」の提供開始
2013年1月31日	当社	第2回 無担保社債を発行 (2013年2月1日 ソニー銀行の財務基盤強化を目的とした同社への劣後ローンに充当)

ソニー生命の保有する有価証券の時価情報(一般勘定)



有価証券の時価情報

売買目的有価証券を除く有価証券の時価情報のうち、時価のあるもの

(億円)

区 分	11.3末			12.3末			12.12末		
	帳簿価額	時価	差損益	帳簿価額	時価	差損益	帳簿価額	時価	差損益
満期保有目的の債券	29,143	28,921	▲ 221	34,048	35,606	1,558	37,418	39,018	1,599
その他有価証券	9,401	9,643	242	8,951	9,561	609	9,290	10,044	753
公社債	8,844	9,041	197	8,491	9,026	534	8,983	9,667	684
株式	498	537	38	291	349	58	147	184	36
外国証券	19	18	▲ 0	153	167	13	144	173	28
その他の証券	38	46	7	14	17	2	14	18	4
合 計	38,544	38,565	20	42,999	45,168	2,168	46,709	49,062	2,353

売買目的有価証券の評価損益

(億円)

11.3末		12.3末		12.12末	
BS計上額	PL評価損益	BS計上額	PL評価損益	BS計上額	PL評価損益
—	—	—	—	—	—

(注) 上記の売買目的有価証券は、「金銭の信託」に含まれているものも含む。

※金額は億円未満切捨てで表示

ソニー生命の利配収入内訳

(単位: 千円)

	FY11.3Q (9M)	FY12.3Q (9M)	前年同期比
現預金	8	8	+7.0%
公社債	56,949,370	64,739,220	+13.7%
株式	527,819	351,448	▲33.4%
外国証券	2,294,520	2,802,992	+22.2%
その他の証券	241,659	177,645	▲26.5%
貸付	4,022,561	4,085,144	+1.6%
不動産	8,438,666	8,143,397	▲3.5%
その他	74,081	57,550	▲22.3%
合計	72,548,689	80,357,408	+10.8%

※金額は千円未満切捨て



お問い合わせ先:

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社
広報・IR部
TEL: 03-5785-1074